

News Release

岩谷産業株式会社 広報部

2020年7月7日

地域が抱える課題の解決に向けて

IoTプラットフォーム「イワタニゲートウェイ」が本格始動

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金：200億円）は、6月1日、新コスモス電機株式会社（本社：大阪、社長：高橋良典、資本金：14.6億円）、東洋ガスメーター株式会社（本社：富山、社長：水越靖、資本金：1億円）と、当社独自のIoTプラットフォーム「イワタニゲートウェイ」の関連機器開発に関して、**2020年度内の量産化を目指すことで合意**しました。

さらに、全国での高齢者見守りや緊急時の駆けつけなど社会課題の解決に向けて、総合警備保障株式会社（本社：東京、社長：青山幸恭、資本金：186.75億円、以下「ALSOK」）と業務提携することで基本合意をしました。

当社は、ガス漏れ警報器に通信機能を付加することにより、様々な「モノ」をインターネットにつなぐ「イワタニゲートウェイ」の構築を進めており、この実現によりお客様の生活を支える新しいサービス・価値の提供を目指しています。本技術に関し、国内では特許を取得済みであり、海外でも中国、韓国、インドネシアなどアジア7カ国に対し特許出願中です。

具体的には、LPガス顧客に設置した通信機能付きガス漏れ警報器（新コスモス電機株式会社製）にLPガスメーター（東洋ガスメーター株式会社製）を接続し、**ガス切れ防止やLPガス配送の効率化**を図ります。さらに、電気メーターや水道メーターとも接続し、使用状況などを把握することで、自治体と連携のもと、**高齢者の見守りサービスや健康管理**などを行います。いずれも、**緊急時に30分以内に現場に駆け付けられるLPガス全国ネットワーク**を有する当社ならではの取り組みであり、このネットワークとALSOKが提供する警備ネットワークや、介護サービス（健康診断、訪問医療サービス）との連携により、**他にはない安心サービス**の提供を検討してまいります。

量産化に向け、**年内を目途に島根県大田市にて事業化検証を予定**しており、**7月10日に同市と協定を締結する予定**です。高齢化や過疎化など地域が抱える様々な課題の解決に向けて、暮らしを支える新しいサービスを提供してまいります。

【参考資料】

◆通信機能付きガス漏れ警報器 外観イメージ図（警報部、検知部）



◆イワタニゲートウェイの概念図

